



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和6年9月13日

「こども110番のいえ」をご存知ですか？

「こども110番のいえ」は、子どもが不安を感じたり、困ったりした時に、ちゅうちょなく駆け込むことができる安全な場所として、小学校が地域の皆様をお願いしています。

「子ども110番の家」とは

子どもが登下校時などに「不審者からの声かけ、ちかん、つきまとい行為」等の被害を受け、身の危険を感じたときに、避難場所として駆け込み、住民が一時的に保護して警察に通報（110番）する仕組みをいいます。危険とは、犯罪に限らず、いじめや自然災害による被害も含まれます。

（引用：岡山県くらし安全安心課 HP「子ども110番の家」対応マニュアル）



「こども110番のいえ」の表示

後閑小学校区には、現在16か所の自宅又は店舗が「こども110番のいえ」に登録してくださっています。子どもたちに分かりやすいように、「こども110番のいえ」のステッカーを貼って表示をいただいています。



〇〇さん宅の前にて

その内、1か所（大藪地区、県道74号線沿い海側の〇〇さん宅）に「こども110番のいえ」を表示する三角コーンを設置させていただきましたのでお知らせします。

車中からでも確認できると思いますので、これを機に、「子ども110番の家」について、ご家庭で話をしていただけたらと思います。学区関係なく、利用できます。

実習生が来ています。

公衆衛生看護学実習のため、玉野総合医療専門学校から2名の学生が後閑小学校に来ています。実習期間は、9月5日（木）～9月18日（水）の9日間です。

実習生は、この実習で、養護教諭の活動や児童への健康支援の実際を理解することを目的としています。実習の初日から、児童たちは大喜びの様子で、休み時間には一緒に遊びたい子が実習生を探す姿が多く見られました。



3,4年生への保健指導

実習期間中には、各学級での授業見学や活動支援のほか、保健指導や保健だよりの作成などを予定しています。写真は3,4年生への保健指導の様子です。「熱中症の予防」について学びました。